

箱根町との相互訪問 変わらぬ友情を誓う

洞 爺湖夏まつりでの大名行列の参加などで交流を一層深めている姉妹都市の箱根町から、今年も両町の中学生による親善訪問が行われ、中学生同士



虻田町からの記念品を渡す

の友情を培いました。

虻田町からは、虻中5人、温中3人の中学生と引率者3人の計11名が7月26日から28日の3日間の日程で、箱根町を訪問し、施設の見学や地元中学生との交流を行ってきました。

一方箱根町からは、8月8日から3日間の日程で、中学生8人と引率者3人が来町し、歓迎式では、長崎町長が「交流を深めて、良い思い出を作って帰ってください」と挨拶。

両町からの記念品交換などが行われ、歓迎式を終えた一行は、洞爺湖遊覧やカヌー体験、金毘羅火口散策、交流会などで地元中学生との友情を深めています。

薬師の日、湯祭り開催

昨 年11月にオープンしたポケットパーク内にある「薬師如来堂」を管理する湯前薬師

如来奉賛会（朝倉英隆会長）が主催して、初めてのイベント「薬師の日湯まつり」が8月8日、中央通りのポケットパークで開催されました。

お薬師さんと数字の八とが関係深いということで8月8日を「薬師の日」として決め、このイベントを開催したものです。

当日は奉賛会の関係者約30人が出席して、温泉の繁栄と安全を祈願する法要祭が行われ、朝倉会長は「8月8日を薬師の日としてこれからも続けていきたい。ご支援をお願いします」と挨拶。長崎町長も「末永く町民の皆さんに愛される薬師になってほしい」と祝辞をのべ、今後の発展に期待を込めました。

同パーク内では、焼き鳥やジュース、ビールの露天も並び

お祭りらしさを演出。ミニライブコンサートも行われるなど参加者は、楽しい夏の1日を過ごしました。



法要祭に出席した皆さん

4区で新しい 子供みこし初披露

虻 田神社の例大祭が8月16日から18日までの3日間、露店やみこしをはじめとした多彩なイベントでにぎやかに繰り広げられました。

4区自治会では、3月に自治会有志で完成させた手作りの子供みこしが、今年のお祭りで初披露されました。

子供たち、新しくなったみこしを持ちながら、元氣よく各家々を回っていました。

坂俣会長は「こうやって子供たちが楽しんで担いでもらうのが、最高のしあわせ」とうれしさで目を細めていました。



新しいみこしで各家を回る子供たち